コースコード：CT-DO011
税込価格：66,000円 (税抜価格：60,000円)
日数：1日間

ここに注目!!

受講対象者
このトレーニングはこのような方におすすめです。

Dockerを使用したコンテナ環境の構築・運用管理が初めての方

前提条件/前提知識
このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

・Linux入門・Linuxシステム管理を受講もしくは同等の知識がある方
※トレーニング環境のOS: Alma Linux（RHEL互換のLinuxディストリビューション）

目的
このコースを修了すると次のことができるようになります。

・Dockerを使用したコンテナ環境の構築を行うために基礎知識を習得する。
・コンテナを作成・管理ができるようになる。
・イメージを作成・管理ができるようになる。
・アプリケーションのコンテナ化ができるようになる。
・レジストリにイメージをpushし、コンテナのスケールアウトや別のコンピュータでの同じコンテナの作成ができるようになる。
・Dockerfileによるイメージの作成ができるようになる。

アウトライン

1. Docker概要
・Dockerとは
・コンテナとは
・コンテナの中でアプリケーションを動作させるメリット
・コンテナの作成のために利用されている技術
・Dockerの構成要素
・Dockerのインストール

2. コンテナ・イメージの作成と管理
・コンテナ・イメージ関連の用語
- レジストリ
- Docker Hub
- リポジトリ
- イメージ

- タグ
・コンテナの作成
- Docker Hubにあるイメージのキーワード検索
- Docker Hubからイメージをダウンロード
- イメージからコンテナの作成
・コンテナの管理
- コンテナのアプリケーションの標準出力・標準エラー出力の確認
- コンテナの端末からのデタッチ
- コンテナに端末を接続
- 起動中のdockerコンテナでコマンドの追加実行
- コンテナの起動・停止・削除
- コンテナの詳細情報の表示
・イメージとレイヤ
- イメージの詳細情報の表示
・独自作成のアプリケーションのコンテナ化
- アプリケーションのコンテナ化
・独自作成のアプリケーションが動作するイメージの作成とDockerHubへの保存
- コンテナからイメージを作成
- DockerHubへのログイン
- DockerHubへのイメージの保存

3. Dockerfile
・Dockerfileの使用目的・メリット
・Dockerfileを使用したイメージの自動作成

※実機演習を豊富に用意しています。